

平成 26 年 8 月 20 日 那覇市長記者会見コメント 主管課：那覇市立病院
地方独立行政法人那覇市立病院 自治体立優良病院受賞について

はいさい ぐすーよー ちゅーうがなびら

地方独立行政法人那覇市立病院が、「平成 26 年度 自治体立優良病院」として、「全国自治体病院開設者協議会」および公益社団法人「全国自治体病院協議会」会長表彰を受賞したことについて、ご報告いたします。

このたびの那覇市立病院の受賞は、沖縄県で初めての受賞となり、継続した黒字決算、救急医療・高度医療・他の医療機関との連携などの選考基準をクリアし、地域医療への貢献が認められたものであります。

那覇市立病院は、昭和 55 年の開院以来、赤字経営が続き、病院廃止や民間委譲、県立病院との合併論が持ちあがるなど、病院継続が危ぶまれていたなか、様々な改革を進め、平成 7 年度からは黒字化することができました。

しかしながら、さらに目まぐるしく変化する医療制度に対し、公営企業のままでは十分な対応ができないと判断し、平成 20 年 4 月 1 日に、全国でも前例の少なかった非公務員型の「地方独立行政法人」へ移行しました。

以来、地域医療支援病院や地域がん診療連携拠点病院の取得、脳卒中センター・健診センターの開設など、地域医療の充実に努め、経営面でも黒字決算を継続しているところであります。

このように、病院全体が一丸となり取り組んできたことが、今回の受賞につながったものと考えております。

本市といたしましても、中核市への移行に伴い設置した那覇市保健所と那覇市立病院との連携をさらに強化し、市民の健康保持・健康増進に努め、保健衛生行政を進めてまいります。

市民・県民が安心し、「楽しく暮らせる街づくり」実現のため、今後とも那覇市立病院が質の高い医療の提供に邁進されますことを期待いたしまして、私からの報告といたします。

いっぺー にふえーで一びる